

第58回 広島県公立小中学校事務研究大会報告

広島県公立小中学校事務職員研究協議会

新型コロナウイルス感染症予防により、昨年度は研究大会の開催を中止しましたが、本年度オンデマンド研修により事務研究大会を開催いたしました。

研究集録には広島県教育委員会教育長平川理恵様よりいただいたご祝辞を掲載させていただきました。

1 大会の概要

「子どもたちの未来を共に創る～教育行政の専門性を活かし学校経営に参画する～」を研究テーマに掲げ、次のような内容で動画及び紙面での研究発表を行いました。

研修1 行政説明「GIGAスクール構想の実現に向けて」(パワーポイント動画)

講師 広島県教育委員会事務局学びの变革推進部義務教育指導課義務教育指導班
情報教育担当 主任指導主事 半田 裕二 様

平成29年「小学校学習指導要領」に「GIGAスクール構想(1人1台端末・高速ネットワーク)」がかかげられ公立小中学校のICT環境が変化しつつありました。ところが、令和2年からの新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、急速に環境を整えており、その現状と、事務職員としてどのようにかかわっていけばよいかを説明していただきました。

研修2 講演「<マネジメント>から「事務をつかさどる」を考える」(オンデマンド研修)

講師 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 曾余田 浩史 様

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」を例に、学校におけるマネジメントについて、現状を把握し、「想いを持つ主体と共に学校をつくる」という視点で考えることを学びました。

研究報告 研究部「第3期広島県事研ビジョンについて」(パワーポイント動画)

「広島県事研ビジョン」について、第1期からどのような目的をもって進めているか、「第3期広島県事研ビジョン」として何を掲げ取り組んでいくか説明しました。

分科会

第1分科会 三次市(パワーポイント動画)

テーマ 「学校事務の平準化～分掌別研修を中心とした共同事務室間連携～」

「分掌別研修」により、三次市内の学校事務の効率化や平準化を目指す取り組みについて、それぞれの分掌ごとの具体的な取り組みをもとに説明しました。

第2分科会 東広島市(紙面提案)

テーマ「新しい時代に求められる学校事務職員に必要な力を育むために
～4部会の特性を生かした研修と主体的な学びを通して～」

東広島市内で実施している「課題体系別」研修について目標・研修内容や成果などについてまとめました。

第3分科会 江田島市(紙面提案)

テーマ「『チーム学校』の中で輝く学校事務職員になるために
～学校組織マネジメント力の向上を目指して～」

学校経営の専門スタッフとして、事務職員の組織マネジメント力について研修している内容についてまとめました。

第4分科会 神石高原町(パワーポイント動画)

テーマ「災害時あなたならどうする！？－児童生徒の安全を確保する危機管理－」

神石高原町主催による「避難所HUG(風水害版)研修」に参加したことにより、事務職員として災害時にどのように対応するか研修したことについてまとめました。

2 まとめ

令和2年から続いている新型コロナウイルス感染症予防により、昨年度は研究大会の開催を中止しましたが、今年度は新たな研修の在り方として、研究大会をWeb研修として行いました。研究集録を会員全員に配布し、10月12日から11月12日の1カ月間ホームページ上に資料や動画を公開しました。視聴・または紙面での研修はほぼ全員行うことができました。また事後のアンケートの回答は140人からありました。

視聴場所は勤務時間内に自校または共同事務室がほとんどでしたが、自宅で視聴した人が15.8%ありました。全員が勤務時間内に研修の時間を確保できるよう働きかけられればと思います。

開催方法については92%の人がよいと回答されていました。全体研修のみであれば今回のようなWebでの開催もよいという意見も多くありました。しかし「質問や討議の時間がないのが残念なので分科会は集合で行いたい」という意見や、紙面のみだと理解が難しいという意見もいくつかありました。集合研修、WEB研修それぞれのメリット、デメリットについて考察しながら、今後の研究大会の開催について検討が必要であると感じています。

学校を取り巻く状況がこの2年で大きく変わりました。急激な変化に柔軟に対応できるような力をつくることのできるような学校事務職員であるよう、研究を進めていきます。これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。